

# The Record

2009-06 Vol.595



特集

## 平成20年度事業報告



社団法人 日本レコード協会



## Contents

Monthly News Digest .....	1
特集	
平成20年度事業報告 .....	3
特報	
著作権法の一部を改正する法律案衆議院を通過 .....	7
PICK UP .....	9
Data File .....	11
Monthly Production Report .....	12
GOLD DISC .....	13
Message & Opinion .....	14

## 4/27

### 日本コンテンツ情報のポータル サイト「ジャパン・コンテンツ・ ショーケース」全面リニューアル



4月27日、ジャパン・コンテンツ・ポータルサイト運営協議会は、日本のコンテンツ情報を国内外に発信するためのポータルサイト「ジャパン・コンテンツ・ショーケース」の全面刷新を実施した。

(<http://www.japancontent.jp/>)

本サイトは、日本のさまざまなエンターテインメント・コンテンツに関する情報を国内外に向けて情報発信するWEBサイトとして、2007年6月に開設され、①国内外におけるジャパン・コンテンツの2次、3次利用を促進するための基本的な情報インフラ、②個人のクリエイターや中小企業の作品の流通の円滑化、③ジャパン・ブランドの海外発信を大きな目的として、映画、放送番組、音楽、文芸作品、コミック、アニメ、写真・美術、ゲームの8つのカテゴリーのコンテンツ情報を横断的に取り扱い、約320万件のメタデータを掲載している。さらに、「知的財産推進計画2008」において本サイトの活用と政府の支援がうたわれるなど、メタデータの集積拠点としての重要性が社会的に認知されている。

今回の全面刷新では、TOPページ・インターフェース画面の刷新をし、コンテンツ検索、絞り込み機能を充実させた。また、企業が所有する作品情報のほか、クリエイター、学生作品など個人の情報発信機能も追加され、今後のインディーズ作品などの発表の場としても活用できる。コンテンツ情報を幅広く掘り起こし、収集・掲載することにより、一層のコンテンツ流通の促進を図る。

※コンテンツ・ポータルサイト運営協議会は、ジャパンコンテンツ・ブランドの発信やコンテンツの利活用の促進を通じて、我が国経済社会の発展に寄与すべく2006年8月に設立されており、当協会も会員として加盟している。

## 5/12

### 第一回CDショップ大賞2009 授賞式開催

5月12日、全日本CDショップ店員組合は、HMV渋谷において、「第一回CDショップ大賞授賞式」を開催した。

「CDショップ大賞」は、2008年1月1日から12月31日までの1年間にリリースされた邦楽CDアルバムを、メジャー・インディーズを問わず全国のCDショップ店員が選ぶものであり、店員が「心から売りたい」「お客さまに絶対に聴いてもらいたい」と感じる作品であることが選考基準となっている。

当日は、受賞作品の発表、表彰に引き続き、CDショップ大賞プロデューサー・箭内道彦氏とCDショップ大賞実行委員によるトークセッションが行われた。

授賞式の詳細は、7月号にて掲載予定。



このエールマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す(社)日本レコード協会の登録商標です

## ■ 受賞作品

・大賞「シフォン主義」相対性理論



・準大賞「THIS IS MUSIC」大橋トリオ



・準大賞「GAME」Perfume



## ■ 入賞作品(50音順)

「HEART STATION」	宇多田ヒカル
「HeartY」	HY
「ホニャララ」	SAKEROCK
「Superfly」	Superfly
「ALRIGHT」	秦基博
「floating pupa」	pupa
「SUPERMARKET FANTASY」	Mr. Children

# 5/28

## 需要拡大コンソーシアム主催 「Music Forum '09」 ～音楽需要拡大へのビジョン～

5月28日、東京都渋谷区の東京ウィメンズプラザホールにおいて、需要拡大コンソーシアム主催の「Music Forum '09」が開催された。需要拡大コンソーシアムは、業界の活性化、音楽需要の創造・拡大を目的とし、音楽関係団体の代表者や一部企業の関係者が、昨年7月より3ヵ月ごとに会合を行ってきたものである。

第4回目となる今回は、今後の音楽需要拡大について、音楽業界内で情報を幅広く共有するため、「音楽需要拡大へのビジョン」と題した公開フォーラムを開催した。

フォーラムの詳細については、7月号に掲載予定。

# 5/29

## 理事会・総会開催

5月29日、東京都千代田区の東京會館において、当協会は第420回理事会および第127回通常総会を開催し、平成20年度事業報告書および決算報告書が承認された。

事業報告の詳細については、本誌3～6ページ「平成20年度事業報告」を参照。

## ●●● 役員人事 ●●●

### ■ 新任(5月22日付)

理事：原 康晴  
コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社  
代表執行役社長兼COO

### ■ 退任(5月14日付)

理事：廣瀬 禎彦  
コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社  
前 取締役、代表執行役社長兼CEO

## ●●● 当協会事務局人事 ●●●

### ■ 入社(6月1日付)

財務部担当課長 楠本 靖

### ■ 退任(5月31日付)

顧問 田辺 攻

## 2009年5月会議メモ

5/11	レコード倫理審査会
5/12	法制委員会
5/13	マーケティング委員会
	広報委員会
5/15	情報・技術委員会
5/20	海外市場拡大委員会
5/22	執行委員会
5/29	理事会

# 平成20年度事業報告

## 事業活動

### [1] レコードの普及に関すること

#### 1. 音楽CDの再販売価格維持制度の擁護とパッケージ市場の開拓・強化

(1) 6月の公正取引委員会著作物再販協議会において、弾力運用の進捗状況を説明し、他業界より取組みが進んでいるとの評価を得た。また、「知的財産推進計画2008」から「音楽用CDの再販売価格維持制度を検証する」との項目が削除された。さらに、音楽ユーザーへの利益還元の一環として今年度もインターネット廃盤セールを1月23日～2月6日に実施するとともに、3月に会員各社の弾力運用の取組みを取り纏め公正取引委員会へ提出した。

(2) パッケージ需要拡大のため、6月にCDショップ店員の数名が中心となって立ち上げたWebサイト「全日本CDショップ店員組合」の運営を支援した。現在、Web参加のショップ店員は約60名、一次投票者は148名とネットワークが広がっている。2月の二次投票(101名)を経て、授賞式を来期(5月12日)に執り行い、併せて受賞作品の店頭展開を行う予定である。

(3) 製販合同で「STOP! ILLEGAL COPY キャンペーン」を6月まで継続し、一定の効果が得られた(7月の調査では、24%が認知し、うち42%に効果が認められた)。また、調査結果として大きな効果が認められた啓発ポスターをリニューアルし、12月にCD販売店へ再配布した。

#### 2. 配信マーケットの整備

(1) 「着うたフル(R)」ウィークリーチャートシステムの構築、テストランの実施、その後参加発売会社を拡大するスキーム変更等を行い、新年度公表開始に向け準備を進めた。また、4月の放送局における番組改編を狙い今年2月にウィークリーチャート公表開始のプレスリリースを行い、マスコミでのチャート活用を促進した。(毎週TV3番組で放映、Web3サイトで掲載が決定済)

(2) 配信用IDの国際規格であるGRid(Global Release ID)について、情報・技術委員会導入の可能性を検討した結果、GRidは日本の携帯ビジネスのニーズを十分には満たさず、また、IDの標準化だけでは配信実務の効率化は達成できないとの結論となった。来期はより総合的な解決策を検討する予定である。

#### 3. 日本音楽の海外ライセンス促進

(1) 国際コンテンツフェスティバル(「Co・Festa」)と連動して開催される音楽産業・文化振興財団(PROMIC)主催の東京アジアミュージックマーケット(TAM)において、バイヤーの招聘者枠を拡大し、欧米19名・アジア30名の計49名を招聘、当協会会員等21社がライブ及びプレゼンテーションを実施した。その結果3月末現在、パッケージが成約31件、交渉中31件、音楽配信が成約3アーティスト、交渉中7件、海外ライブが決定2アーティスト12ヶ国、交渉中5アーティストと、大きな成果を上げることが出来た。(前回最終実績パッケージ成約件数27件)

(2) 日本音楽ポータルサイト「日本音楽娯楽快線(中国語・英語)」を経済産業省の支援を得て6月に開設、平成21年3月末で36万プレビューを記録した。また、内容充実のため放送局等とのタイアップにこぎつけ、また機能増強によりアーティスト情報のデータベース化が可能となった。

(3) 中国におけるインターネット上の著作権侵害対策として、当協会がコンテンツ海外流通促進機構(CODA)に先行して認証機関としての業務を開始するための中国国家版權局、経済産業省及びCODAとの事前調整を完了した。

#### 4. 各種セミナーの開催

(1) RIAJセミナー  
会員社及び関係団体対象に10回開催した。

(2) 大学寄付講座  
今年度は慶応義塾大学及び立教大学で開講した。

#### 5. その他

(1) “Music J-CIS”(Music Japan-Copyright Information Service)の構成団体として、音楽権利情報データベースを充実させユーザーへのサービスを拡大するため、平成20年度発売新譜等の楽曲情報取り込みを実施した。その結果、平成20年度末時点での収録楽曲総件数は約345万件まで拡大した。

## [2] レコードに関する調査研究および統計に関すること

### 1. 市場調査、産業統計の充実

音楽パッケージソフトの月別生産実績、並びに四半期毎の音楽配信実績を集計し公開した。

### 2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

音楽の認知・購入経路調査をメインテーマとし、2008年度音楽メディアユーザー実態調査を行った。

## [3] 録音による芸術文化の保存に関すること

### 1. 歴史的音源のアーカイブ事業の推進

平成22年度からの国立国会図書館でのアーカイブ公開を実現するため、利活用等の運用、事業コスト等について「歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)」の場で協議し、概要を決定した。その結果、平成21年～24年度の4年間にわたり年3,500万円(合計1億4,000万円)の国庫助成が確定した。

### 2. 日本ゴールドディスク大賞の刷新

第23回授賞式(3月2日開催)は3年ぶりにアーティストのライブパフォーマンスを復活させ、民放TV及びラジオ局で放送した。後日のパブリシティでは、TV露出が前回30分から77分超へ、また全体の広告費換算で倍増の成果を得た。

### 3. 文化庁芸術祭への協力

「第63回文化庁芸術祭」のレコード部門申請窓口として66作品を参加申請し、参加が承認された31作品の中から芸術祭大賞1作品、優秀賞3作品が選出された。

### 4. 日本プロ音楽録音賞の共催

優秀な音楽録音作品を選定し、その録音エンジニアを顕彰する日本プロ音楽録音賞を(社)日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、(社)日本オーディオ協会、演奏家権利処理合同機構Music People's Nestおよび当協会が共催し、平成20年12月4日虎ノ門パストラルにおいて第15回授賞式を開催した。

## [4] 著作権・著作隣接権等に関すること

### 1. 携帯電話向け違法音楽配信への対策強化

(1) 携帯電話向け違法音楽配信の根絶を目指し、当協会です実効性の高い技術的対策を検討した結果、平成21年

度から総務省が設置する「違法音楽配信対策WG」の場から関係者による具体的な検討を進めることとなった。

(2) 当協会の違法音楽ファイル探索作業で収集した情報を利用して次の対策を実施した。

- ① 年度内に約3万5千件の違法音楽ファイルの削除要請をプロバイダに対して行うとともに、作業方法の見直しにより、削除要請実施までの期間短縮を実現した。
- ② 携帯キャリアにおける違法サイトのフィルタリングのため、5月から違法サイト情報の提供を開始した。
- ③ 一部携帯キャリアの協力を得て、検索エンジンの検索結果表示から違法サイトの情報を除外する対応を10月から開始した。

(3) 悪質な携帯電話向け掲示板サイト「第③世界」に対する警察の捜査に協力した。その結果、運営者等2名が摘発され、主犯格の男性には懲役3年執行猶予5年及び罰金500万円の判決が下された。また、平成19年に逮捕された携帯電話向け違法配信サイトの運営者等4名に対し、総額約1,800万円の損害賠償請求を行った。

### 2. 違法ファイル交換(P2P)への対策の継続強化

(1) WinMXによる違法アップローダー4名に対し損害賠償請求等を行うため、3月にプロバイダ2社に対し発信者情報開示請求を実施した(通算3回目)。

(2) Winnyについて、ISP団体と権利者団体とで構成する「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」の検討に参画し、ISPと共同で実施する権利侵害対策に対応するガイドラインの検討を行った。また、技術を用いた権利侵害の証拠収集作業を1月から開始し、違法音楽ファイルの流通実態把握を行った。

(3) 音楽関係各団体と連動し、適宜プレスリリース等の広報対応を行った。(社)コンピュータソフトウェア著作権協会(ACCS)及び日本国際映画著作権協会(JIMCA)と12月に実施したP2Pユーザー調査結果に関するプレスリリースはNHKニュースで採り上げられた他、新聞4紙等で報道された。

### 3. 識別マーク(エルマーク)の普及

(1) 識別マーク(エルマーク)の対象について、従来の音楽ダウンロード配信に加え、(社)日本映画製作者連盟等の映像権利者団体の協力により3月18日から映像配信(ダウンロード及びストリーミング)にも範囲を拡大した他、音楽ストリーミング配信も対象に加えた。その結

果、平成20年度末時点で180事業者が運営する1,133配信サイトまで広がった。

(2)「携帯音楽を守りたい」大型キャンペーンを携帯サイトを中心に5月末まで継続した。6月からは昨年に続きアーティストの協力を得て携帯サイトでの呼びかけキャンペーンを実施した。

(3) 識別マーク(エルマーク)の認知訴求を図るべくPC及びモバイルの当協会ホームページ上に説明サイトを設置、また音楽関係6団体によるsarah助成事業「Happy Music Cycle」キャンペーンは、識別マーク(エルマーク)に焦点を絞り3月に実施した。

(4) 著作権法第30条改正の閣議決定を受けて、違法音楽ファイルのダウンロードの問題と識別マーク(エルマーク)の話題が3月11日民放の朝のテレビ番組で取り上げられた。

#### 4. 著作権法改正への取組み強化

##### (1) 著作権法第30条の見直しへの対応

文化審議会著作権分科会において、違法配信からの私的録音録画を30条の範囲から除外する法改正の方向が決定され、今通常国会に法案が上程された。一方、私的録音録画補償金問題については、メーカー側の反対により著作権分科会の場では結論が得られなかった。現在、他の権利者団体と共に、私的録音録画の実態調査・国民向け広報活動等についてWTを組織して対応を検討している。

##### (2) レコード保護期間の延長

文化審議会著作権分科会において、著作権保護期間の延長について賛否両論を併記した中間整理が取り纏められ、レコード等の著作隣接権の保護期間延長についても、併せて検討することが適当との整理がなされた。

##### (3) レコード演奏権立法化へのロードマップ作成と具体的活動の開始

平成25年度の法改正に向けた5ヵ年のロードマップを作成し、今年度は特に実演家団体との協力関係構築を進めるとともに、レコード演奏権の潜在市場規模に関する調査を実施した。

#### [5] レコードに関する出版物の刊行等

##### 1. 出版物の刊行

月刊機関誌「THE RECORD」を発行し、会員社、関係団体、官公庁、マスメディア、業界関係者などに配布した。また、日本のレコード産業の年間統計資料集として「日本のレコー

ド産業2009」を和文、英文で発行し、ネット上でも公開した。

##### 2. ホームページの運営

ユーザビリティのアップを目指し、著作権ページの全面改訂、問い合わせフォームの作成を行った。なお、当協会公式携帯サイト「Respect Our Music Mobile」においても問い合わせフォームを作成し、若年層を中心とする携帯電話のネットユーザーからの問い合わせに対応できる環境を整えた。

#### [6] レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、総額の取り決めならびに徴収及び分配

##### 1. 二次使用料収入の拡大

(1) (社)日本民間放送連盟との間で地上放送に関する平成18～20年度の三年契約が成立して過年度の差額精算を受けたほか、日本放送協会(NHK)の平成20年度使用料について、昨年度実績を上回る伸び率で協議が整った結果、徴収額は57億3,600万円(前年度比20.2%増)、権利者分配額51億1,600万円(前年度比21.5%増)となった。

(2) 有線テレビ放送(CATV)の二次使用料について、(社)日本ケーブルテレビ連盟との団体間合意に至り、平成21年2月より、各CATV事業者(約430社)との契約締結作業を開始した。

(3) CS放送事業者に係る平成19～23年度の5ヵ年契約について、(社)衛星放送協会と合意に至り、平成21年2月より、各CS放送事業者(約100社)との契約締結作業を開始した。

##### 2. 二次使用料分配ルールの抜本的な見直し

(1) 平成22年度の実績分配導入を目指し、民放キー4局、NHK、他権利者との間で全曲報告の精度向上に向けた取組みを継続実施するとともに、放送使用時間を基準とした分配ルールを平成21年度に策定することとなった。

(2) 実績分配におけるキーコードとなるISRCについて、付番精度の向上、権利者情報のメンテナンス、システムの安定的運営のため、既存システムの統合・改修作業を実施した。

##### 3. 放送番組のインターネットでの利用促進支援

(1) 平成20年12月に開始した「NHKオンデマンド」におけるレコードの送信可能化について、NHKと利用許諾契約を締結した他、昨秋以降、民放キー局が行う地上放送テレビ番組のネット配信についても利用許諾を行っ

た。また、「NHKオンデマンド」の見逃し番組サービスについて、レコード会社専属アーティストの専属解放手続きについて当協会が窓口となって行うよう取りまとめた。

(2)放送番組のオンデマンドストリーミング配信における洋盤参加の実演家の権利処理について、(社)日本芸能実演家団体協議会・実演家著作隣接権センター(CPRA)と協議・調整を行い、平成21年4月以降、当協会が実演家の権利も含めて一括して利用許諾を行うこととなった。

**[7] レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収及び分配**

(1)徴収額は37億4,900万円(前年度比5.8%増)、権利者分配額は33億3,700万円(前年度比8.9%増)となった。

**[8] 私的録音録画補償金に関する権利行使団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の分配**

**1. 私的録音補償金**

(社)私的録音補償金管理協会(sarah)から2億326万円(前年度比29%減)を受領し、1億6,688万円(前年度比31%減)を権利者に分配した。

**2. 私的録画補償金**

(社)私的録画補償金管理協会(SARVH)から4,306万円

(前年度比12%増)を受領し、3,531万円(前年度比14%増)を権利者に分配した。

**[9] その他**

**1. 協会組織のあり方の見直し**

公益法人改革関連法施行に伴う当協会の法人形態移行を検討するため、9月に「協会組織のあり方に関する検討委員会」を立ち上げ、具体的な検討を行った。その結果、3月に同委員会の答申案が理事会に報告された。

**2. 国内・国外の団体、機関との連携活動**

IFPI(国際レコード産業連盟)の中央理事会が、5月(パリ)と11月(ロンドン)に開催され、11月の中央理事会には協会長が出席した。

**3. レコード倫理審査会の開催**

月次会議にて会員社から発売される全邦楽作品10,207点について審査を行った。

**4. “ISRC”(International Standard Recording Code)の管理機関としての活動**

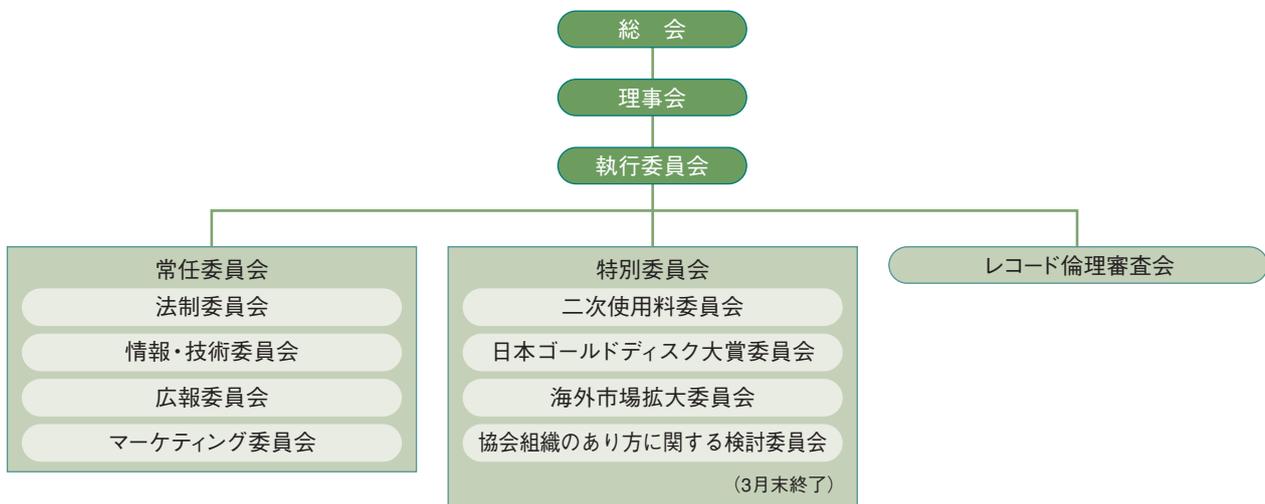
登録者コードの新規発行件数133件(前年度112件)、個別コードの発行曲数は12,298曲(前年度9,401曲)であり、3月末の累計数は登録者コード876件、個別コード32,915曲となった。

**5. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈**

今年度(第46回)は、10,000枚の音楽CDを身体障害者福祉施設(約500施設)へ寄贈した。

**運営体制**

平成20年度末における当協会の運営体制は次の通りである。



以上

## 著作権法の一部を改正する法律案衆議院を通過

5月12日、著作権法の一部を改正する法律案が衆議院本会議において全会一致で可決され、参議院に送付された。現在点で参議院での審議日程は未定であるが今国会中の成立がほぼ確実な状況となった(改正法の施行は来年1月1日の予定)。この法律案の中には、当協会等が中心となって法改正を求めてきた第30条第1項の改正「違法なインターネット配信等による音楽・映像を違法と知りながら複製することを私的使用目的でも権利侵害とする」が含まれている。なお、先立って5月8日に開催された衆議院文部科学委員会において改正法案は全会派の賛成により可決されたが、この採決とあわせて全会派共同提案による7項目の附帯決議がなされた(附帯決議の全文は8ページに記載)。この附帯決議の中で特に留意すべきと考えられる事項について以下に紹介する。

1 違法なインターネット配信等による音楽・映像を違法と知りながら録音又は録画することを私的使用目的でも権利侵害とする第三十条第一項第三号の運用に当たっては、違法なインターネット配信等による音楽・映像と知らずに録音又は録画した著作物の利用者に不利益が生じないように留意すること。

また、本改正に便乗した不正な料金請求等による被害を防止するため、改正内容の趣旨の周知徹底に努めるとともに、レコード会社等との契約により配信される場合に表示される「識別マーク」の普及を促進すること。

第一文は、本改正が違法なインターネット配信等による音楽・映像を「違法と知りながら」録音又は録画することを私的使用目的でも権利侵害とするものであるため、改正によって「違法と知らずに」録音又は録画した著作物の利用者(適法利用者)に不利益が生じないように留意すべきことが盛り込まれたものである。第二文は、本改正を悪用したいいわゆる「振り込め詐欺」を防止するため、改正内容の周知徹底と当協会が推進する「適法配信識別マーク」(エルマーク)の普及促進を求めるものである。

2 インターネット配信等による音楽・映像については、今後見込まれる違法配信からの私的録音録画の減少の状況を踏まえ、適正な価格形成に反映させるよう努めること。

現在の違法配信の流通実態は適法配信の流通実態を大きく上回るものと推定されているが、本改正により違法配信が減少に転ずることが期待される。その場合、今まで違法配信からの利用を行っていたユーザーが、その利用を止めるだけにとどまらず、

積極的に適法配信を利用することを促すためにも、配信を行う事業者に対し、ユーザーやマーケットの動向等も見ながら適正な価格設定を行うよう努めることを求めるものである。

5 近年のデジタル化・ネットワーク化の進展に伴う著作物等の利用形態の多様化及び著作権制度に係る動向等にかんがみ、著作権の保護を適切に行うため、著作権法の適切な見直しを進めること。

特に、私的録音録画補償金制度及び著作権保護期間の見直しなど、著作権に係る重要課題については、国際的動向や関係団体等の意見も十分に考慮し、早期に適切な結論を得ること。

「著作権の保護を適切に行う」という観点から著作権法の適切な見直しを求める、という明確な文言、およびここ数年議論を行ってきたにもかかわらず、利害関係者間の意見の隔たりが大きく、結論が出ていない「私的録音録画補償金制度」と「著作権保護期間の見直し」の問題について、「国際的動向や関係団体等の意見も十分に考慮し、早期に適切な結論を得る」よう求める文言の付帯決議が全会派共同でなされたことは音楽関係団体のこれまでの取り組みが結実したものであるとして大いに評価される。

7 文化の発展に寄与する著作権保護の重要性にかんがみ、学校等における著作権教育の充実や国民に対する普及啓発活動に努めること。

文化の発展には著作権が保護される社会となることが必須である、とした宣言であり、そのため国が率先して著作権の教育、普及啓発活動を行わなければならない、としている。

## 著作権法の一部を改正する法律案に対する附帯決議

政府及び関係者は、本法の施行に当たり、次の事項について特段の配慮をすべきである。

- 一 違法なインターネット配信等による音楽・映像を違法と知りながら録音又は録画することを私的使用目的でも権利侵害とする第三十条第一項第三号の運用に当たっては、違法なインターネット配信等による音楽・映像と知らずに録音又は録画した著作物の利用者に不利益が生じないように留意すること。  
また、本改正に便乗した不正な料金請求等による被害を防止するため、改正内容の趣旨の周知徹底に努めるとともに、レコード会社等との契約により配信される場合に表示される「識別マーク」の普及を促進すること。
- 二 インターネット配信等による音楽・映像については、今後見込まれる違法配信からの私的録音録画の減少の状況を踏まえ、適正な価格形成に反映させるよう努めること。
- 三 障害者のための著作物利用の円滑化に当たっては、教科用拡大図書や授業で使われる副教材の拡大写本等の作成を行うボランティア活動がこれまでに果たしてきた役割にかんがみ、その活動が支障なく一層促進されるよう努めること。
- 四 著作権者不明等の場合の裁定制度及び著作権等の登録制度については、著作物等の適切な保護と円滑な流通を促進する観点から、手続の簡素化等制度の改善について検討すること。
- 五 近年のデジタル化・ネットワーク化の進展に伴う著作物等の利用形態の多様化及び著作権制度に係る動向等にかんがみ、著作権の保護を適切に行うため、著作権法の適切な見直しを進めること。  
特に、私的録音録画補償金制度及び著作権保護期間の見直しなど、著作権に係る重要課題については、国際的動向や関係団体等の意見も十分に考慮し、早期に適切な結論を得ること。
- 六 国立国会図書館において電子化された資料については、図書館の果たす役割にかんがみ、その有効な活用を図ること。
- 七 文化の発展に寄与する著作権保護の重要性にかんがみ、学校等における著作権教育の充実や国民に対する普及啓発活動に努めること。

# PICK UP

今月のニュース・ピックアップ

## PICK UP

### 2009 6th TAM「第6回東京アジア・ミュージックマーケット」開催のお知らせ

日本の魅力あるアーティスト・音楽コンテンツを広く海外に発信していくことを目的とした国際音楽見本市「第6回東京アジア・ミュージックマーケット」が10月19日から5日間にわたり、JAPAN国際コンテンツフェスティバル(CoFesta 2009)のオフィシャルイベントの一環として開催される。

本年は、欧米、アジア地域より訪れる音楽関係者との商談会の充実を図るため、昨年以上にプレゼンテーションの数を増やし、さらにネットワーキング構築の場を設営するなど、一層の情報交換、国際交流およびビジネス・マッチング実現を推進していく。また、今年度、CoFestaの目的の一つである『他業

種との連携』として、TIFFCOMと全面的に協力し合い、双方が開催するイベントに自由に入場可能な環境を整え、日本の音楽関係者とTIFFCOMが招聘する海外の映像制作関係者との交流促進を図り、ビジネスチャンスの拡大を目指す。さらに、昨年までのJ-POP等のショーケースライブに替わり、海外で人気の高い、アニメソングにジャンルを絞ったライブパフォーマンスが行われる。

CoFesta 2009のメインテーマである「すばらしい」の具体化に向け、昨年以上の成約実績を目指し、日本音楽産業の発展と相互の連携拡大に向け音楽業界を挙げて取り組んでいく。

#### ■ 第6回東京アジア・ミュージックマーケット

##### <開催概要>

日程: 2009年10月19日(月)~23日(金)  
会場: 品川プリンスホテル(バンケットルーム) / 品川ステラボール  
共催: 財団法人音楽産業・文化振興財団、経済産業省  
内容: ● オープンレセプション

11月19日(月) 19:00~21:00(予定) 会場/品川プリンスホテル バンケットルーム

##### ● 商談会

###### ① プレゼンテーション

10月20日(火) 10:00~18:00 会場/ステラボール  
1社15分程度、海外音楽関係者に向けプレゼンテーションを実施。

###### ② 個別商談会

10月21日(水) 10:00~18:00(予定) 会場/ステラボール  
10月22日(木) 10:00~14:00(予定) 会場/ステラボール  
前日のプレゼンテーションを受け、2日間にわたり個別商談会を実施。

###### ③ ネットワーキング

10月20日(火) 21日(水) 23日(金) 20:00~22:00(予定) 会場/ステラボール2F  
よりカジュアルな環境で海外音楽関係者と情報交換および国際交流促進が図れる場を提供する。

##### ● ビジネスセミナー

10月23日(金) 14:00~17:00(予定) 会場/品川プリンスホテル バンケットルーム  
音楽産業が直面するタイムリーなテーマを抽出し、1or2セッションを実施予定。

##### ● アニメソングライブ

10月23日(金) 18:30~20:30(予定) 会場/ステラボール  
今年は海外で人気の高いアニメソングにジャンルを絞ったライブを開催する。出演者パフォーマンスと連動して、関連アニメ映像等も上映し、世界をリードするシーンを海外バイヤーに体感してもらう。このライブのみ一般客の観覧も予定している(詳細は後日、TAM HPで発表)。

お問合せ: 財団法人 音楽産業・文化振興財団(PROMIC)  
TAM事務局 FAX: 03-5408-8886  
Mail: info@promic.net



# PICK UP

今月のニュース・ピックアップ

## 入会のご挨拶

2009年4月1日付で準会員として入会した、株式会社ランティス 井上 俊次代表取締役社長、有限会社ヴィレッジアゲインアソシエーション 又村 毅代表取締役からの挨拶文を紹介します。



この度、準会員として社団法人日本レコード協会に加盟させていただきました。株式会社ランティスと申します。

弊社はアニメーション、ゲームの音楽を中心にパッケージを発売するメーカーとして1999年に設立し、今年で10年目を迎えます。この10年という節目の年に歴史ある協会に入会できたことを大変光栄に思い、改めて感謝申し上げます。

現在はバンダイナムコグループの一員となり、音楽事業を統括し3つのレーベルを、バンダイビジュアル様、アニプレックス様、ジェネオンユニバーサル様の3社のディストリビューションで販売を委託させて頂いております。

これからも音楽制作に邁進し、ユーザーの方々に喜び、感動を与えられる音楽創りをしてまいります。役員、社員そして会社もまだまだ若い集団ですが、今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒宜しく願い申し上げます。

株式会社ランティス  
代表取締役社長 井上 俊次



この度、準会員として社団法人日本レコード協会に加盟させていただきました。歴史ある協会に入会でき、大変光栄でございます。

弊社は2001年に海外のクラブ・ジャズといわれるジャンルのアーティストの作品を紹介させて頂くレーベルとしてスタート致しました。その後、インディー・ロックと呼ばれるジャンルの作品のリリースを開始し、その当時弊社の契約したアーティスト「ブライト・アイズ」がビルボード誌のチャートの上位になるなどのトピックをはさみ、徐々に作品の幅を広げていきました。

弊社のポリシーは“作品のクオリティをアートワークも含め、できる限り高める”という事であり、楽曲も含め、アーティスト様、制作の担当の方、などと詰めて話をして少しでもいいものになればと常日頃、考えております。

最近COMPACT DISCのセールスの低迷が話題として出てくる事が多いですが、レコード店様が少しでも長期的に展開のしやすい、安心できる内容の作品をレコード店様に、卸し様の方々と話しつつリリースさせて頂いていただければと思っております。

本当に小さな会社ではありますが、皆様と協力しつつ、“音楽”を聞いてもらいたくなる環境を作っていければ幸いです。

若い会社では御座いますが、何卒よろしく願いいたします。

有限会社ヴィレッジアゲインアソシエーション  
代表取締役 又村 毅

## 2009年 第1四半期有料音楽配信売上実績

日本レコード協会加盟全社の集計による2009年第1四半期(1月~3月)の有料音楽配信売上実績がまとまりましたのでお知らせします。

2009年第1四半期は、数量で前年同期比98%の1億1,828万ダウンロード、金額で前年同期比100%の224億6,500万円となりました。

内訳では、インターネット・ダウンロードが、数量で前年同期比115%の1,139万回、金額で前年同期比118%の24億4,600万円、モバイルが、数量で前年同期比96%の1億688万回、金額で前年同期比98%の196億3,200万円となっています。

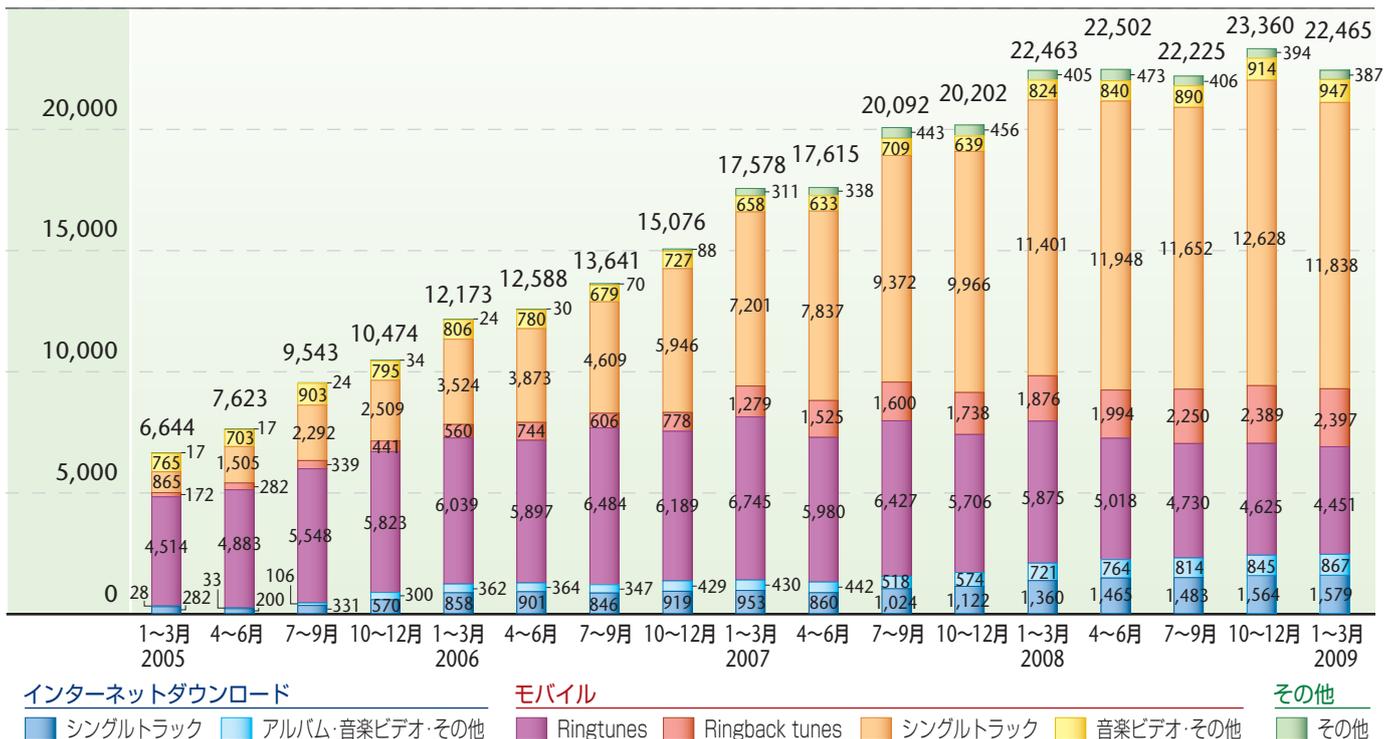
(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2009年1月~2009年3月			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
インターネット ダウンロード	シングルトラック	10,334	115%	1,579	116%
	アルバム	621	118%	733	120%
	小計 (オーディオダウンロード分)	10,955	115%	2,313	117%
	音楽ビデオ	431	112%	134	124%
	その他	0	—	0	—
	合計	11,386	115%	2,446	118%
モバイル	Ringtunes	41,255	81%	4,451	76%
	Ringback tunes	28,117	124%	2,397	128%
	シングルトラック	34,741	101%	11,838	104%
	音楽ビデオ	2,081	86%	728	106%
	その他	685	211%	219	162%
	合計	106,880	96%	19,632	98%
その他	サブスクリプション (インターネット)			167	100%
	サブスクリプション (モバイル)			99	92%
	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)	15	214%	121	93%
総合計		118,281	98%	22,465	100%

注:数量...ダウンロード回数

### ● 有料音楽配信四半期毎金額推移

単位:百万円



# Monthly Production Report

## 2009年4月度レコード生産実績

4月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比78%の1,744万枚・巻、金額で同80%の204億円となりました。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比72%の1,377万枚・巻、金額で同77%の161億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比123%の367万枚・巻、金額で同97%の43億円となっています。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		4月実績						2009年1月～2009年4月累計						
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
シ	8cmCD	邦	12	0	88%	7	0	95%	32	0	42%	17	0	43%
		洋	0	0	0%	0	0	0%	3	0	10%	1	0	16%
		計	12	0	88%	7	0	94%	35	0	33%	18	0	41%
ン	12cmCD	邦	3,648	26	83%	3,001	19	96%	14,749	22	86%	11,525	14	90%
		洋	32	0	196%	24	0	256%	98	0	43%	57	0	87%
		計	3,680	27	83%	3,024	19	97%	14,847	22	85%	11,582	14	90%
ル	小計	邦	3,660	27	83%	3,008	19	96%	14,782	22	85%	11,542	14	90%
		洋	32	0	195%	24	0	254%	100	0	39%	58	0	84%
		計	3,692	27	83%	3,031	19	97%	14,882	22	85%	11,600	14	89%
12cmCD アルバム	邦	7,106	52	70%	9,510	59	77%	38,592	56	92%	51,423	64	84%	
	洋	2,654	19	62%	3,215	20	64%	13,410	20	77%	16,022	20	82%	
	計	9,759	71	68%	12,725	79	73%	52,002	76	88%	67,444	84	83%	
CD 合計	邦	10,766	78	74%	12,518	78	81%	53,374	78	90%	62,965	78	85%	
	洋	2,685	20	62%	3,238	20	64%	13,510	20	77%	16,079	20	82%	
	計	13,451	98	71%	15,756	98	77%	66,885	98	87%	79,044	98	84%	
アナログ ディスク	邦	6	0	24%	12	0	28%	29	0	53%	51	0	67%	
	洋	7	0	124%	8	0	93%	13	0	92%	17	0	86%	
	計	14	0	42%	20	0	40%	41	0	61%	68	0	71%	
カセット テープ	邦	265	2	79%	226	1	84%	1,485	2	90%	1,084	1	81%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%	
	計	265	2	79%	226	1	84%	1,485	2	90%	1,084	1	81%	
その他	邦	23	0	81%	58	0	109%	70	0	72%	118	0	70%	
	洋	17	0	182%	28	0	145%	62	0	170%	132	0	168%	
	計	40	0	105%	86	1	118%	133	0	99%	250	0	101%	
合計	邦	11,060	80	74%	12,814	80	81%	54,958	80	90%	64,218	80	85%	
	洋	2,710	20	63%	3,274	20	65%	13,586	20	77%	16,228	20	82%	
	計	13,770	100	72%	16,088	100	77%	68,544	100	87%	80,446	100	84%	

### ● 音楽ビデオ

		4月実績						2009年1月～2009年4月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,418	93	126%	3,929	92	99%	18,321	94	104%	20,766	92	88%
	洋	228	6	86%	299	7	66%	1,167	6	101%	1,568	7	80%
	計	3,647	100	122%	4,228	98	96%	19,488	99	104%	22,334	99	87%
テープ・LDその他		18	0	528%	65	2	842%	106	1	346%	288	1	326%
合計	邦	3,434	94	126%	3,984	93	100%	18,419	94	105%	21,030	93	89%
	洋	231	6	87%	308	7	68%	1,176	6	102%	1,592	7	81%
	計	3,665	100	123%	4,293	100	97%	19,594	100	105%	22,622	100	88%

### ● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	4月実績						2009年1月～2009年4月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	13,770	79	72%	16,088	79	77%	68,544	78	87%	80,446	78	84%
音楽ビデオ	3,665	21	123%	4,293	21	97%	19,594	22	105%	22,622	22	88%
合計	17,435	100	78%	20,381	100	80%	88,138	100	90%	103,068	100	85%

### ● ビデオ(含音楽ビデオ)

	4月実績						2009年1月～2009年4月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	7,019	98	113%	13,318	97	94%	35,136	98	109%	61,343	96	95%
テープ・LDその他	107	2	807%	458	3	992%	600	2	641%	2,486	4	735%
合計	7,127	100	114%	13,776	100	96%	35,735	100	111%	63,829	100	99%

### ● オーディオ/ビデオ合計

	4月実績						2009年1月～2009年4月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	13,770	66	72%	16,088	54	77%	68,544	66	87%	80,446	56	84%
ビデオ	7,127	34	114%	13,776	46	96%	35,735	34	111%	63,829	44	99%
合計	20,897	100	82%	29,865	100	85%	104,279	100	94%	144,275	100	90%

備考 1. 上記実績は、会員会社[56社]の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
\*オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

## 音楽ソフト

### 邦楽

#### アルバム

##### ● 2ミリオン

EXILE BALLAD BEST	EXILE	2008.12.03	AMI
-------------------	-------	------------	-----

##### ● プラチナ

THE MONSTER ～Someday～	EXILE	2009.04.15	AMI
PUZZLE	関ジャニ∞	2009.04.15	TE
The Secret Code	東方神起	2009.03.25	AMI

##### ● ゴールド

つるのうた	つるの剛士	2009.04.22	PC
そしてもう一度夢見るだろう	松任谷由実	2009.04.08	EMI

### シングル

##### ● プラチナ

手紙～拝啓 十五の君へ～	アンジェラ・アキ	2008.09.17	ES
--------------	----------	------------	----

##### ● ゴールド

虹	コブクロ	2009.04.15	WJ
Share The World / ウィーアー!	東方神起	2009.04.22	AMI
ワンルーム・ディスコ	Perfume	2009.03.25	TJC

### ビデオ

##### ● ゴールド

昭和八十三年度!ひとり紅白歌合戦	桑田佳祐	2009.03.25	V
------------------	------	------------	---

※日付は発売日

## 認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/  
 AMI:エイベックス・マーケティング/EMI:EMIミュージック・ジャパン/ES:EPICレコードジャパン/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MH:ソニー・ミュージックダイレクト/PC:ポニーキャニオン/SE:エスエムイーレコーズ/SR:ソニー・ミュージックレコーズ/TE:ティチクエンタテインメント/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン

## 有料音楽配信(「着うた®」他)

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

### 「着うた®」

#### 邦楽

##### ● トリプル・プラチナ

Moon Crying	倅田来未	2008.05.02	AMI
-------------	------	------------	-----

##### ● ダブル・プラチナ

stay with me	倅田来未	2008.11.12	AMI
明日がくるなら	JUJU with JAY'ED	2009.04.01	AI

### 「着うたフル®」

#### 邦楽

##### ● ダブル・プラチナ

Moon Crying	倅田来未	2008.05.28	AMI
ニホンミカタ ーネバダカラカマシタ	矢島美容室	2008.10.29	AMI
ひまわり	遊助	2009.03.14	SR

##### ● プラチナ

刹那	GReeeeN	2009.03.16	UM
魂のルフラン	高橋洋子	2007.07.11	K
アイのうた	福井舞	2008.08.01	AMI
アイヨクダサイ	ONE☆DRAFT	2008.12.03	AI

##### ● ゴールド

Shangri-La	angela	2008.09.09	K
Someday	EXILE	2009.03.18	AMI
僕へ	EXILE	2008.12.03	AMI
クラゲ、流れ星	大塚愛	2008.08.27	AMI
stay with me	倅田来未	2008.12.09	AMI
TABOO	倅田来未	2008.09.24	AMI
It's all Love!	倅田来未×misono	2009.03.18	AMI
1/3の純情な感情	SIAM SHADE	2007.09.12	SE
明日がくるなら	JUJU with JAY'ED	2009.04.22	AI
心よ原始に戻れ	高橋洋子	2007.07.11	K
どうして君が好きになってしまったんだろう?	東方神起	2008.07.16	AMI
遠くても feat. WISE	西野カナ	2009.03.11	SE
Dream Fighter	Perfume	2008.11.16	TJC
YOU～あなたがそばにいる幸せ～	HOME MADE 家族	2009.02.25	KS
フレンズ	レベッカ	2007.09.19	MH

## PC配信(シングル)

### 邦楽

##### ● ダブル・プラチナ

そばにいるね	青山テルマ feat. SoulJa	2008.01.23	UM
--------	--------------------	------------	----

※日付は配信開始日

# 音楽マーケットの拡大に向かって

## Message & Opinion



株式会社ソニー・ミュージックディストリビューション  
代表取締役社長  
(社団法人日本レコード協会 マーケティング委員会 副委員長)  
古澤 清

日本レコード協会のマーケティング委員会は、音楽パッケージや音楽配信のマーケティング全般に関する各種諸問題の対応を協議、また、音楽産業の健全な発展を目指し議論を重ね活動をしています。マーケティング委員会内には、需要拡大WT、有料音楽配信認定チャートWT、インターネット廃盤セールWT、統計調査WT、小売店調査WT、再販制度研究WT等々があり、その活動は多方面に及んでいます。5月12日、第1回CDショップ大賞が発表されましたが、思い返しますと、07年10月にマーケティング委員会主催で「本屋大賞はなぜ生まれたか」をテーマにセミナーを開催しました。音楽関係者のみならずCDショップ関係者合わせて250名が集まり、08年には準備委員会が設立され、本年第1回発表に漕ぎつけています。CDショップ店員皆さんの音楽に対する熱い気持ちを支援できたことを心より嬉しく思っていますし、新しい需要拡大に向かうものと信じています。また、協会を挙げて音楽創造サイクルを守る大切さを一般ユーザーに訴求することを目的とし、違法ダウンロード撲滅、違法コピー撲滅運動を展開しています。当マーケティング委員会委員皆でこの運動の強化を目指し、初めての試みとして、全メーカー作成のアーティスト告知ポスターに「STOP! ILLEGAL COPY ~違法コピー撲滅~」の統一キャッチコピーを刷り込み半年間展開を図りましたが、キャンペーン後、協会ユーザー調査結果では42%が違法コピーに対する意識が好転したとの結果を得ています。そして、着うたフル週間チャートも先般開始されました。

08年はパッケージが前年比92%、音楽配信が120%、全体で97%と、世界の主要国と比べ善戦していると思います。ただ、残念ながら、09年も市況が厳しさを増していることは十分に認識しています。この状況下、素晴らしい音楽文化を発展させるためにもマーケティング委員会の各メーカー委員の皆で手を取り知恵を絞りマーケットの拡大を目指していきます。

### 編集後記

第1回CDショップ大賞授賞式が開催されました。全国のCDショップ店員の投票によって選ばれる賞。投票されたショップ店員の皆さんの熱い思いがギュッと詰まっています。受賞作品の中には、まだ、聞いたことのないCDもありました。これをきっかけに新しい音楽に触れてみようと思っています。授賞式の詳細については、7月号にて紹介致します。

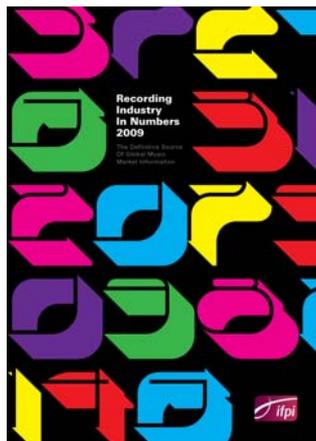
(T)

■ 当機関誌へのご意見・感想がございましたら、当協会公式サイト(URL: <http://www.riaj.or.jp>)のお問い合わせページよりお寄せ下さい。

## 協会からのお知らせ

5月28日、IFPI(国際レコード産業連盟)は、2008年の世界の音楽産業の動向まとめた「RECORDING INDUSTRY IN NUMBERS 2009」を発表しました。

ダイジェスト版については、7月号に掲載予定です。



<http://www.ifpi.org/>



<http://www.mamo-on.jp>

**THE RECORD No.595 2009年6月号**  
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一  
編集人 生野 秀年  
発行日 2009年6月10日  
発行 社団法人 日本レコード協会  
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F  
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

Respect  
our MUSIC

